令和元年台風第19号による災害廃棄物の広域処理について

環境整備課

1 経緯

○ 令和元年11月

令和元年10月に発生した台風第19号による大量の災害廃棄物を処理するため、環境省が広域処理の調整を行った結果、宮城県から本県に協力要請があったことから、県内市町村等に受入可能性について照会した。

○ 同年12月

秋田市から県に受入可能との回答があったことから、宮城県にその旨を回答し、秋田市と宮城県角田市が具体的な協議を開始した。

○ 令和2年1月

両市間で協議が整ったことから、業務委託契約を締結し、秋田市総合環境センターで受入れを開始した。

2 受入れの状況

- ・ 期 間 令和2年1月20日から同年3月31日まで
- ・ 種 類 可燃物（水を被った家財道具、生活用品、衣類等）
- ・ 処 理 量 900トン

【参考】環境省の広域処理調整によらない県内市町村への受入れ

- ・ 市町村名 宮城県松島町
- ・ 受入市町村名 にかほ市
- ・ 期 間 令和2年2月6日から令和3年3月31日まで
- ・ 種 類 稲わら
- ・ 処 理 量 500トン